



## デジタル技術で自らを大きく変革し、 経済的・社会的価値を創出する

### 経営ビジョンにおけるDXの位置づけ

AGCグループは、昨年策定した中期経営計画 **AGC plus-2023** で、長期経営戦略「2030年のありたい姿」の実現を確実にするための戦略の一つとして「DXの加速による競争力の強化」を掲げている。DXは、まさにこの「2030年のありたい姿」に向けたコーポレート・トランスフォーメーションの根幹と位置付けている。

AGCグループではデジタル技術の活用そのものをDXとはしていない。デジタル技術を活用し、素材メーカーとして業務プロセスを効率化することはもとより、常に変化するお客様や社会に対応し、サプライチェーン全体を大きく変革すること、それによって競争優位性を築き、経済的価値に加え、社会的価値をも追求していくこと、これこそがAGCグループのDXである。

### DXの取組紹介

#### デジタルマーケティングによるLow-E※ガラスの拡販

住宅やビルの窓ガラスを遮熱・断熱性能の高いLow-Eガラスへ置き換えることは、お客様にとって夏の節電・暑さ対策、冬の断熱効果向上のメリットがある。建物のエネルギー消費量を削減し、CO2排出量の削減にも貢献するガラスの普及は、安全・快適な都市インフラの実現という社会的価値の創出につながるものである。AGCグループでは、マーケティングオートメーションを活用して多くのお客様との接点を増やし、お客様情報や商談進捗を社内との関係部署で横断的に共有することにより、Low-Eガラス市場を開拓している。

※Low-Eガラス：Low-E膜(熱の移動を抑える低放射膜)をコーティングしたガラス



#### マテリアルズインフォマティクス(MI)とシミュレーション技術による組成開発

AGCグループでは、素材の組成開発にMIとシミュレーション技術を活用し、お客様や市場のニーズに合わせ、組成開発のリードタイムの大幅な短縮、環境対応型新製品の創出といった成果を生み出している。

これらの取り組みは、当社の競争基盤を強固なものにするだけでなく、デジタルの力を活用した素材のイノベーションを通して、安心して健康な暮らし、持続可能な地球環境の実現に貢献するものである。



#### デジタル時代の「人財のAGC」

こうした取り組みを支えるため、AGCグループではデータサイエンティスト育成プログラム「**Data Science Plus**」を整備し、業務知識に加え、高度なデータ解析スキルを有する「二刀流人財」の育成に努めてきた。今年からは生産拠点が集積するアジア地域にも展開することとしている。また、昨年より管理者向けDX研修や工場の技能職向けデータ活用研修など多層的な研修体系を整備し、デジタル時代の「人財のAGC」を目指している。

### DXの取組状況

